

南魚沼市上下水道料金センターが移転します

問 水道課

☎774・3141

新住所 四十日1790番地1

☎788・0220

F 776・3030

営業時間

・月曜～金曜日 午前8時

30分～午後6時

・日曜日 午前9時～正午

※土曜日、祝日、年末年始

(12月29日～1月3日)は

休業します

南魚沼市上下水道料金センターは7月17日(土)に、旧大巻小学校学童棟に移転します。事務所は、7月18日(日)の午前9時から通常どおり営業します。



宝くじの助成金で煙体験用資機材を整備しました

問 消防本部予防課

☎782・5330

一般財団法人自治総合センターでは宝くじの社会貢献広報事業として、助成事業を行っている。この助成を受けて、南魚沼

青少年女性防火委員会が地域防災訓練時に使用する煙体験用資機材を整備しました。火災時の濃煙体験や防火意識の啓発に活用していきます。



八色の森から 39

問 八色の森公園管理事務所

☎780・4560

公園や周辺で見られる生物などを紹介します

エゴノネコアシ(虫こぶ)

八色の森にエゴノキが何本かあります。エゴノキの枝先にバナナの房のような形に膨れたものがたまに見られます。これはアブラムシなどの影響で木の一部分が異常な形状になる虫こぶのひとつです。この虫こぶを猫の足に見立てて「エゴノネコアシ」といいます。

エゴノキにこの虫こぶを作らせる虫はエゴノネコアシアブラムシといい、虫こぶの中で羽の無い雌が胎生単為生殖で増えていきます。7月ごろになると羽をもつ雌が現れ、エゴノキを離れてイネ科の植物(アシボソ、コブナグサなど)に移ります。イネ科の植物でも羽の無い雌だけで増えていきますが、秋になると羽のある虫が現れ、再びエゴノキに移ります。そして、エゴノキでは雄と雌が現れ、雌が



エゴノキの実



エゴノネコアシ

受精卵を生み、卵で冬を越しします。卵からかえった幼虫がエゴノキの新芽を食べると、そこにエゴノネコアシが形成され、これらのサイクルを繰り返します。虫こぶはしばしばエゴノキの実と勘違いされますが、実は丸い玉状で、枝からぶら下がっています。